

6番 中島 好人 議員

- 1 埴生・津布田地区の「総合的教育環境」の構築について
 - (1) 一体型小中連携校について
 - (2) 埴生・津布田認定こども園について
- 2 平成23年度の施政方針について
 - (1) 施策の大綱1「暮らしの安心・安全を守るまちづくり」における子育て支援、「安心して子どもを生み育てることができる環境づくり」について
 - ア 子どもの医療費無料化制度の拡充
 - イ 幼稚園、保育園の保育料の軽減
 - ウ 学校給食の軽減など経済的支援について
 - (2) 施策の大綱3「うるおいのある快適なまちづくり」における「誰もが快適に暮らせるまちづくり」について、公営住宅政策について
 - ア 公営住宅の供給、補修などの整備計画について
 - イ 使用承継制度の緩和について
 - (3) 施策の大綱5「人が輝く心豊かなまちづくり」における青少年の健全育成については、本市の次世代を担う青少年が豊かな心と健やかな体を育み、夢や目標を抱いて成長することができるよう家庭や地域社会の教育力の再生を図り、社会全体で青少年を育てる環境整備を進めるため「子ども・若者育成支援推進法」における当市の取組みについて
 - ア 「子ども・若者計画」の策定について
 - イ 「子ども・若者支援地域協議会」の設置について
- 3 高畑・高泊方面のバス実証運行について
 - (1) 高千帆台でのバス利用者促進について
 - (2) 親しみのある愛称を募集して付けることについて

7番 高松 秀樹 議員

- 1 夏期の教育環境の整備について

ここ数年、夏期は異常な猛暑になっており、今後も同様の猛暑になることが予想される。文部科学省は、教室の温熱環境の基準について、「夏期では30度C以下であることが望ましい。また、最も望ましい温度は、夏期では25～28度Cである」としている。近年、市内小中学校の各教室においては、午前中から30度を超えると言われている。夏場の劣悪な教育環境の改善が必要と考えるがいかがか。
- 2 学校給食について

平成22年の3月議会において教育委員会は、「完全米飯給食について、御飯は、食育基本法や学校給食法にうたわれている日本の食文化の中心であり米飯給食の回数をふやすことは非常に重要なことだと考えている。センター方式を検討していく中で、栄養教員、給食調理員などの関係者と協議していきたい。」また、アルマイト食器の変更については、「どうにかしたいといつも感じている。」と答弁しているがどのような協議がなされ今後の具体的な施策についてどのようなお考えがあるのか。

3 議会と行政のあり方について

議会では、議会基本条例制定特別委員会において、議会の新しい仕組みについて議論を重ね、先日の本会議初日に中間報告をいたしました。審議項目の中で「反問権」や「議会の附属機関の設置」「議決事項の追加」「議会事務局の強化」などの執行部と関わりがある部分について市長の所見をお伺いしたい。

8番 山田伸幸 議員

1 車イスで歩けるまちづくりについて

- (1) 高齢者の暮らしの実態について
- (2) 買い物難民対策としてのデマンドタクシー導入検討を
- (3) 「車イスで歩けるまちづくり条例」制定を

2 教育政策と貧困対策について

- (1) 市の教育方針は競争主義となっていないか。
- (2) 貧困に苦しむ児童生徒のために奨学金制度の検討を

3 食育と学校給食の考え方について

- (1) 食の安全と学校給食の考え方
- (2) 食育・地産地消と学校給食の連携について

4 市役所の人事のあり方について

- (1) 将来を見据えた人事配置について
- (2) 正規職員の加重負担と臨時職員配置について
- (3) 公民館への若手職員配置について

9番 河崎平男 議員

1 安心安全を守るまちづくりについて

- (1) 海岸保全施設整備事業の進捗状況（松屋・埴生地区）について
- (2) 糸根川河川改修事業の進捗状況について
- (3) 前場川河川改修事業の進捗状況について

2 にぎわいと活力にみちたまちづくりについて

津布田・埴生海岸通りの資源（景観・食文化・文化財など）の活用について

3 婚活支援について

担い手対策や少子化対策、定住対策の方策として